

講義科目名称： 臨床栄養学Ⅱ

授業コード： 51204500 51204510

英文科目名称： Clinical Nutrition II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	必修
担当教員			
名引 順子			
火2、3			
添付ファイル			

科目の概要	臨床栄養学Ⅰ（基礎編）で学習した内容の理解をさらに深めると共に栄養管理の実践に必要な知識や技術を修得し、栄養状態および病態・病状の評価をするために必要な臨床検査についてその意義と基準値を学び、臨床検査と疾患について学修する。また食品と医薬品の相互作用による栄養管理法を修得し、医療報酬制度や介護保険制度の違いなどを修得する。
授業の内容	<p>第1回 医療制度 医療保険制度①</p> <p>第2回 医療制度 医療保険制度②</p> <p>第3回 医療制度 介護保険制度</p> <p>第4回 代謝疾患① 肥満 病態、検査、特徴、栄養管理</p> <p>第5回 代謝疾患② メタボリックシンドローム 病態、検査、栄養管理</p> <p>第6回 代謝疾患③</p> <p>第7回 糖尿病① 病態、検査 代謝疾患④</p> <p>第8回 糖尿病② 特徴、栄養管理① 代謝疾患⑤</p> <p>第9回 糖尿病③ 栄養管理② 代謝疾患⑥</p> <p>第10回 脂質異常症① 病態、検査 代謝疾患⑦</p> <p>第11回 脂質異常症② 特徴、栄養管理 代謝疾患⑧</p> <p>第12回 痛風 特徴、栄養管理 免疫・アレルギー疾患① 食物アレルギー</p> <p>第13回 免疫・アレルギー疾患② 自己免疫疾患</p> <p>第14回 小児疾患① 先天性異常</p> <p>第15回 まとめ 後期授業のまとめ</p>
学習到達目標	傷病者の栄養状態、病態・病状の評価をするために必要な臨床検査とその意義と基準値および臨床検査と疾患について理解でき、臨床における各疾患の栄養管理法を理解できる。さらに、食品と医薬品の相互作用を理解し、栄養管理につなげる力を養う。また診療報酬、介護保険制度の違いを理解する。
授業の方法	講義
成績評価の方法	小テスト10%、定期試験90%
教科書・テキスト	臨床栄養学概論/渡邊早苗ほか/建帛社
参考書	雑誌・臨床栄養（月刊/医歯薬出版）
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	種々の疾患について最新治療法や薬剤、保健機能食品について関心を持つ。

履修上の留意事項	臨床栄養学は解剖生理学・病態生理学・生化学・食品学に家政学（調理学）およびカウンセリング論などを集体系した教科であることから、1年次、2年次で学修した関連教科を十分に復習しておけば難しい教科ではない。
オフィスアワー	疑問や意見、質問があれば何時でも研究室（4-413）を訪問してください。
実務経験	
その他	